

事務事業名		重症心身障害児通園事業			会計	一般会計						
課等名		子育て支援課		係等名	こども発達センターひまわり		事業種別	政策	開始	19	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり									
	施策	34	障害者福祉の推進									
目的	対象(誰・何を)	1 重症心身障がい児とその保護者				対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	健康状態に合わせた通園をし、個々の機能訓練や家庭外での活動・体験の場を広げ発達を支援する。					飯田下伊那の在宅重症心身障がい児数(人) 県資料(飯田下伊那地域の重症心身障がい児の状況)			16人		
	向上させたい上位施策の成果指標	ひまわり重心登録児数(人)										
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	通園して訓練を受けた障がい児の数(在籍児数)／飯田下伊那の在宅重症心身障がい児数 (%)			54	68	64	54				
	定性目標											
事業概要	<p>1 身近なところで、家庭外の日中活動やリハビリの場が得られるようにする。 2 できる限り、重症心身障がい児や保護者が希望する日に、通所ができるような体制を整える。 3 生活リズム作り、摂食、散歩、感覚遊び等、体験や生活全体が豊かになるよう、多様なメニューを準備し提供する。 4 重症心身障がい児通園事業内容を地域に広く伝えるとともに、関連機関と密接に連携し必要な支援をつなげる。</p>											
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標				
	1 機能訓練 2 遊びを通じた楽しみづくり・体づくり 3 食べることの楽しみづくり 4 健康管理 5 療育相談				① 在籍児数 ② 延べ利用人数 ③ 1日当たりの平均利用者数			① 11人 ② 477人 ③ 2人				
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		7,216	10,713	9,382	10,413	(そ)児童発達支援給付費負担金(国1/2、県1/4)(福祉課予算)、保護者負担金ほか						
国庫支出金												
県支出金		6,446										
起債												
その他		770	10,713	9,150	10,092							
一般財源				232	321							
人件費計(千円)②		0		11,443								
正規職員所要時間				3,200								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		7,216	10,713	20,825	10,413							
事業内容・目標達成状況の振り返り	時間や単独・様々な行事体験など、受け入れの幅は広がった。在籍数は目標達成しているが、利用日数は少ない。楽しい経験やリハビリの内容等、要望に応じて充実させていくことが利用人数や在籍数の増加につながると思われる。											
改革改善の考え方	①問題点	抱える障害が重いため、幼児のみの利用実績が伸びない。定められた職員を配置しているため、実績が少ないと、市町村の負担が大きくなり、クラス運営を考える必要がある。利用料が変わり、保護者の負担が増えた。給食費の補助があると良										
	②改革提案	個々に必要な支援を充分把握して適時適切に紹介・提供することにより登園につなげる。実績が少ないクラス運営を工夫する。重症心身障害児通園にもセンターと同じ給食費の補助をお願いしたい。										